

福祉のかけ橋

平成27年11月号 第63号



紋章を南山見のシンボルに

南山見公民館長 碓井 好彦

南山見地区住民の福祉増進を願って、「ふれあいいきいきサロン」や「月曜サロン」「ボランティア支援活動」「敬老の集い」などの事業を積極的に展開されている南山見地区社会福祉協議会の皆様に、心から敬意を表し応援のエールを送ります。

すでにご承知の方もいらっしゃると思いますが、この度、南山見自治振興会のご支援を得て南山見公民館のステージ幕等が新調されました。これまで使われてきた紺色の幕には、「昭和二十七年 校下一同」と記されていました。この記述から、この幕は旧南山見小学校から引き継がれたこと、校区住民からの寄贈品であることが分かります。このことから、住民の学校へ寄せる熱い思いが込められているということが読み取れます。幕は、旧南山見小学校では昭和四十三年に井波小学校に統合されるまでの十六年間使われ、その後この公民館で四十七年間も使われてきたのです。

昨年の「敬老の集い」前日のステージ幕吊りの際、幕の生地が傷んで薄くなっていること、何か所も丁寧に縫い直されていることに気付きました。破れないようにと、みんなが注意しながら幕を吊りました。幕を傷めないようにという気遣いが今日までなされてきたのだと思います。

この時、私は、地区の皆さんの物や人を大切にしている心、旧南山見小学校や南山見公民館を地区の「灯台」として伝統や文化を守り伝える熱い思いがずっと受け継がれてきたのだと確信しました。この心や思いは、とてもすばらしい。これからもずっと受け継いでいきたいものだと思ってきました。

そこで、公民館運営審議委員会等で役員の方々の賛同を頂いて、これまで使ってきた天幕中央の旧南山見小学校の校章を新しい幕に生かし、その中の文字を南山見小学校の「小」から南山見の「南」に替えて再生することにしました。この紋章を南山見の歴史に流れる「心」や「思い」のシンボルとしていきたいと思えます。なお、これまで使われてきた幕の校章は、額に入れて宝として公民館に永く残していきます。

皆様、ご来館の際には、ぜひ、この額もご覧下さい。

南砺市南山見地区社会福祉協議会
平成 27 年度 構 成 員 名 簿

任期 H27.4.1~H28. 3.31

会 長	松井 泰範	学識経験者
副会長	青山 哲一	//
//	前川 真介	//
常務理事	前田 好一	//
理事	田村 良樹	地区選出理事
//	高橋 憲雄	//
//	山田 敏行	//
//	前田 誠一	//
//	須川 武志	//
//	澤田 資司	//
//	箭原 弘一	//
//	池田 謙二	//
//	中村美津夫	//
//	池田 浩吉	//
//	横江 清隆	//
//	山口 一雄	//
//	谷田 賢治	//
//	田村辰之助	//
//	碓井久美子	主任児童委員
//	井上 智子	民生委員
//	瀧田 孝子	民生委員
//	澤田 裕子	民生委員
//	中嶋真知子	民生委員
//	徳成 尚子	女性部代表
//	武田十四子	青葉グループ長
//	林 みつ子	若葉グループ長
//	長田 綾子	知る葉グループ長
//	徳成 花枝	双葉グループ長
//	松田 博志	ねんりんグループ長
//	松井 正子	食生活改善推進員代表
//	武田 圭子	地域福祉サポーター
//	池田 隆志	//
監 事	山田 秀孝	地区町内会代表
//	前川 諭	地区老連会長
評議員	山田 秀孝	院瀬見 1 区町内会長
//	高橋 孝吉	院瀬見 2 区町内会長
//	長田 晴樹	院瀬見 3 区町内会長
//	前田 誠一	院瀬見 4 区町内会長
//	須川 武志	東城寺町内会長
//	池田 勲	清玄寺町内会長
//	箭原 弘一	連代寺町内会長
//	藤井 昭夫	志観寺町内会長
//	武田 臣弘	谷町内会長
//	中村美津夫	戸板町内会長
//	池田 浩吉	里領町内会長
//	直江 正	川原崎町内会長
//	澤田 範久	沖町内会長
//	田村辰之助	南山見新町内会長
//	松長 郁夫	遺族会
//	鎌仲 清信	身体障害者協会
//	吉田 友治	青少年育成市民会議
//	直江 裕之	児童クラブ会長
//	高嶋 典之	男女共同参画推進員
//	碓井 好彦	花と緑の銀行頭取
//	中嶋 眞一	マーシ園代表
//	武田東洋子	南山見赤十字ボランティア会長
//	前川 定子	院瀬見 1 区高齢福祉推進員
//	高橋 孝吉	院瀬見 2 区高齢福祉推進員
//	田村 良樹	院瀬見 3 区高齢福祉推進員
//	前田 厚子	院瀬見 4 区高齢福祉推進員
//	須川 武志	東城寺高齢福祉推進員
//	池田 澄子	清玄寺高齢福祉推進員
//	久恵 直美	連代寺高齢福祉推進員
//	松井 武夫	志観寺高齢福祉推進員
//	武田東洋子	谷高齢福祉推進員
//	中村美津夫	戸板高齢福祉推進員
//	若崎 幸子	里領高齢福祉推進員
//	直江喜美代	川原崎高齢福祉推進員
//	山口すみ子	沖高齢福祉推進員
//	齋藤美恵子	南山見新高齢福祉推進員
//	松永 文子	五領島高齢福祉推進員

平成 27 年度 収 支 予 算 書

収 入 の 部		(単位 円)
科 目	本年度予算額	摘 要
会 費	135,000	14 町内会 @ 500/ 戸
捕 助 金	686,000	
繰 入 金	100,000	
寄 付 金	10,000	
特別会費	120,000	研修会会費等
雑 収 入	5,996	預金利子他
繰 越 金	83,004	前年度繰越金
計	1,140,000	

支 出 の 部		(単位 円)
科 目	本年度予算額	摘 要
会 議 費	30,000	総会 役員会
事 務 費	40,000	消耗費代・事務手当
事 業 費	1,000,000	別紙明細
負 担 費	10,000	保険料・社協会費
諸 費	25,000	弔電 香料 その他
予 備 費	35,000	
繰 越 金	0	次期繰越金
計	1,140,000	

平成 27 年度 事 業 明 細 書

(単位 円)

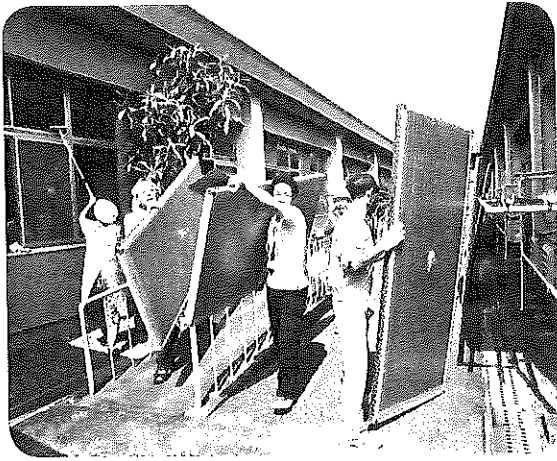
福 祉 事 業 内 訳	本年度予算	摘 要
社会福祉活動事業	300,000	
①広報「福祉のかけ橋」の発刊	110,000	年間 2 回発行
②歳末見舞い	80,000	高齢者・独居老人歳末見舞い
③独り暮らし老人友愛訪問	15,000	花鉢贈呈
④福祉活動推進費	5,000	活動紹介
⑤保育所・施設交流	10,000	
⑥学習・研修会	80,000	役員研修会
地域総合福祉推進事業	400,000	
①ケアネット活動	45,000	ケアネット活動助成他
②在宅介護者訪問支援	60,000	入浴券・介護用品配布
③ミニサロン育成費	50,000	@ 10,000 円× 5 単位老人クラブ
④地域福祉サービス活動	10,000	食改助成
⑤ボランティアもう 1 人運動	15,000	マーシ園にて
⑥ボランティア活動支援	35,000	ボランティア活動支援 @ 7000 円× 5 グループ
⑦三世交流の集い	10,000	南山見公民館共催 分担金
⑧先進地視察事業	150,000	役員研修会
⑨講師派遣助成	25,000	@ 5,000 円× 5 単位老人クラブ
小地域ふれあい交流事業	300,000	
①交通安全支援費	12,000	交通安全マスコット配布
②敬老の集い	198,000	
③高齢者ふれあいサロン	90,000	
計	1,000,000	

マージョ
ボランティア
もう一人運動

八月五日マージョ園でボランティアもう一人運動が行われました。施設利用者の方に気持ちよくすごしてもらえようと、地区ボランティアグループ、地区社協関係者、市社協担当者、実習生三十四名の参加がありました。

挨拶、日程説明の後、窓ガラスふき、置干し、車椅子清掃、手袋の袋詰め、シューズ交換等、各班に分かれて作業を行いました。

利用者の皆さんとのふれあいや、参加者同士の交流もあり、和気あいあいのうちに作業が進みました。



マージョ
ボランティアの集い

八月五日マージョ園地域交流室において、ボランティアの集いが開かれました。

ボランティアもう一人運動参加者、市社協ボランティア担当者、マージョ園の職員の方々に参加していただき意見交換が行われました。ボランティアグループより活動紹介があり、活動上の悩みや課題について話し合いました。

マージョ園からは出来る範囲で無理なく活動を続けてくださればうれしいと話がありました。途中ケーキが登場し、和やかに会話も弾みました。

ボランティア活動を通して地域と施設の交流が一層深まってくことを願っています。
(T・T)



在宅障害者対象の避難訓練
モデル事業実施される

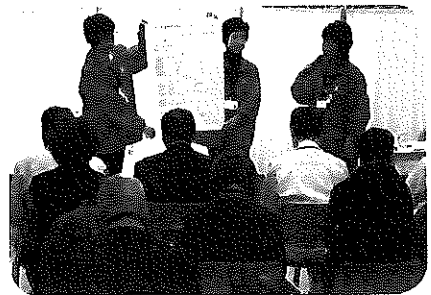
マージョ園

災害から、要支援者を受け入れる強い街づくりのため、富山県委託事業が避難訓練モデル事業は南砺市に引き継がれ、十月十七日に実施されました。実施主体は、南砺市・南山見自治振興会・マージョ園、そして、南砺消防署・富山県防災士会・南砺市社会福祉協議会・井波地域民生児童委員協議会等、関係機関の協力を受け、在宅の身体障害者・知的障害者・精神障害者を対象とした約百人規模の訓練でした。

一次避難所となる南山見公民館では、市総務課担当者が南砺市内の指定避難所に関する講習会を実施。福



社避難所「ホーム風の谷」では、要支援者の受け入れや炊出し訓練、マージョ園「木の香」では、南砺市社会福祉協議会による「いのちのバトン」の講習、富山県聴覚障害者協会による「災害時に有効な手話講座」が行われました。



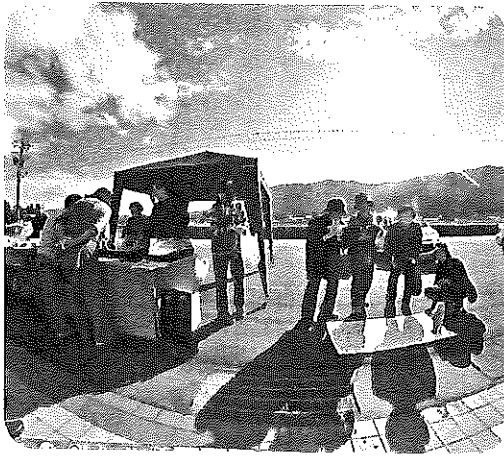
福祉避難所「ホーム風の谷」は、在宅障害者を対象とした避難スペースですが、災害が発生した場合、児童や高齢者にも対応する適応力が求められます。マージョ園は、こうした現実をふまえ地域の社会資源として、安心・安全な生活の一助となるよう貢献していきます。今後、福祉避難所の運営にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



「月曜サロン」 楽しく開催中

南砺市の生活支援事業助成を受け月曜サロンは九月と十月と二カ月を経ました。この間、楽しいサロンにしようとして朝市・バザーや喫茶、カルチャー教室、映像お楽しみ会・・・と創意をこらし、多くのスタッフの協力のもと頑張ってきました。

朝市・バザーでは、初回のみ雨天でしたがその後は好天に恵まれ、城端往來に垂れ幕や案内看板を立てお客さんを待ちました。朝どりの新鮮野菜が並べられ、お客さんのリクエストに「ちよっと待って」といって、畑へ行つて頼んで来るから」といった愉快なやり取りもありました。毎回六、七店の出店。売上はこの二カ月で四万六千五百円。



喫茶では手作りのかわいいお盆にコーヒーや昆布茶等の色々の飲み物がクッキー等と一緒に出てきて、ホッとしたりと時を過ごせます。時々、枝豆や落花生の差し入れが出たりします。

カルチャー教室は、テーブルを囲んで楽しく物作り。先生は「お弟子さん」が教え合っている様子。ラベンダー匂い袋・コイン入れを作りました。

映像お楽しみ会では、地域のイベントを記録してこられた田村義孝さんのビデオ映像で、地域で活躍された先輩たちの姿を見つけ、懐かしく惚んだりもしました。

二か月八回の実施では、延べ参加者百七十一名平均二十二名でした。憩いと交流の月曜サロンにぜひ気軽にお立ち寄りください。(S・M)

敬老の集い

稲の刈取も終え、さわやかな秋風がなびく九月二十日(日)午後二時から七十五歳以上の対象者百九十四名で七十八名を招待し、盛大に第二十四回南山見地区敬老の集いを開催いたしました。

今年度米寿を迎えられた受賞対象者は五名でしたが、式典では二名の参加で、南砺市長代理の民生部次長 叶山様からお祝い状と記念品が贈呈されました。

続いて来賓の叶山民生部次長、松田自治振興会長、碓井公民館長より祝辞をうけた後、米寿の方々の記念撮影をしました。続いて井波彫刻家の永田幹夫氏より「悠久の歴史・川上里」と題して講演いただきました。南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ二〇一一年では永田さんのアイデアを

もとに長椅子ベンチを多くの市民で製作し、ギネスに挑戦することができました。

富山県越中の歴史の移り変わりから見た南砺市、そして、南山見の歴史の流れ等を詳しく、興味深く知ることが出来ました。

今年は、自治振興会、公民館の関係者により敬老の集いにあわせて舞台装置、ステージ幕等が新調され、また、南山見地区の紋章も披露されました。

このようなすばらしい舞台でアトラクションとして、にじいろ保育園年長組による体操や遊戯、艶やかな衣装のなでしこ会の皆様による『ああ三日月城』と『黒田節』で楽しく過ごしていただきました。

これからも、地区の皆様方には、ますますお元気で長生きしていただき、来年の敬老の集いにも笑顔でお会いすることを心からお待ちしています。(Y・M)

祝米寿

おめでとうございます

- 山本みどり様 (院瀬見)
- 澤田 君子様 (清玄寺)
- 久恵 清治様 (連代寺)
- 岩崎喜代野様 (里領)
- 池田ユリ子様 (沖)



ふれあいのいきいきサロン

年間六回開催される恒例のサロンです。毎回、保健師による血圧測定や健康相談の後、包括支援センターから派遣されたアイウエープの講師松井志津さんの指導で、介護予防の健康体操を行っています。少しハードなところもありましたが、リズムに合わせ一生懸命体操している皆さんは、若々しく輝いています。昼食会は、食改の皆さんによる伝達講習で、手作りされた健康料理をおいしくいただきます。午後にはいろいろな催しを計画しています。

七月三十日にはラベンダーの匂い袋作りや交通安全全オレオレ詐欺予防のビデオを鑑賞し、休憩には、クオモジ茶を味わいました。九月三日には瑞泉寺上林師による聖徳太子の絵解きを聴聞し、あわせて市社協派遣のドリンクサービスで、花椿かがやきの皆さんにコーヒーを入れていただきました。コーヒー



の香りが漂い和やかな談笑のひと時でした。
(T・A)

高齢者学級・地区社協との

合同学習会

六月二十六日(金) 南山見公民館において合同学習会が開催されました。市立砺波総合病院 長・伊東正太郎先生を迎え、「いきいき長寿で社会に貢献

」をテーマとして講演をいただきました。『私の名前は伊東ゆかりの伊東、鉄人二十八号の正太郎、ちなみに稲塚権次郎氏の近所で生まれました。』とウエットに富んだ自己紹介から会話を和ませ本題にいきいきと長生きすることは、社会に役立ちかつ積極的な社会活動が期待できる。そのために大切な六つのこと。一、高血圧 二、糖尿病 三、認知症にならないように 四、肉を食べましょう 五、虚弱化防止 六、タンパク質の摂取が重要。日常生活の中でこの六点到心がけることにより、心も身体も年相応に自立が継続し、家庭でも地域でも活動・社会参加が出来ることでした。分かりやすいスライドと聴衆を引きつける巧みな話術であったという間の講演でした。



ケアネット活動推進研修会

八月六日、南山見地区社会福祉協議会ケアネット活動推進研修会を開催し、当地区の高齢福祉推進員、各ボランティアグループ員、地区社会福祉協議会役員等が参加しました。

講師に、ケアネット活動のエキスパートとして広く活躍の金城大学社会福祉学部 内慶瑞教授をお招きし、分かりやすいケアネット活動についてアドバイスを受けました。

南山見地区は、各町内を跨いで民生委員がチームリーダーとして活動を行っていますが、チーム員が情報を共有しながら、高齢世帯の見守りをしていきます。

近所にしかできない「近所力」を、強い味方として、いち早い異変の気づきや、声掛けなどの安否確認を密にし、地区から発信する情報の共有がいかに重要であるか指

南いただきました。また、公民館・町内会などの「協働」の重要性についても熱く語っていただき、私たちの今後のケアネット活動がいかに大切な活動であるか再認識できた大変有意義な研修でした。



(M・N)

南砺市南山見地区社会福祉協議会
 平成27年度 事業計画及び経過
 平成27年4月～平成28年3月

年月	事業内容
平成27年4月18日	定期総会
6月26日	第1回サロンと高齢者学級合同学習会
7月10日	役員会
7月30日	第2回ふれあいいきいきサロン
8月5日	ボランティアの集い・ボランティアもう一人運動施設支援交流(マーン園)
8月6日	第1回ケアネット研修会
8月28日	役員会
9月3日	第3回ふれあいいきいきサロン
9月20日	敬老の集い
10月3日	南砺市社会福祉大会
11月	広報「福祉のかけ橋」発行 南山見地区文化祭活動報告 第4回ふれあいいきいきサロン
12月	第5回ふれあいいきいきサロン 友愛訪問(80歳以上の高齢者及び75歳以上の一人暮らし)
平成28年1月	役員研修会 友愛訪問花鉢贈呈(75歳以上の一人暮らし)
2月	第6回ふれあいいきいきサロン 第2回ケアネット研修会 在宅介護者訪問支援
3月	役員会(年度末決算見込み、新年度事業予算等) 広報「福祉のかけ橋」発行

南砺市社会福祉大会

南砺市社会福祉大会とボランティアフェスティバルinNANTOが十月三日井波総合文化センターで開催されました。午前中は二十一人と七団体の表彰式、講演がありました。フリーアナウンサーの道志真弓さんが「生きていくって幸せ」と題して、自分の子どもを八歳で亡くした事等話を聴き入っていました。涙を流して話を聴き入っていました。

午後からは、NSK294による認知症の家族をかかえた寸劇がありました。その中で、双葉グループによる踊りや木彫音頭もあり、会場の方も多く参加されました。手話コーラスもされました。ロビーでは、展示物等もありました。(H.I.)

南砺市社会福祉協議会長表彰

- ・社会福祉活動
徳成 花枝 (沖)
- ・ボランティア活動者
箭原 一子 (今里)

シートベルトさんまいけ

今年も「秋の交通安全運動」が行われました。まず、シートベルトを締め心をひき締めてハンドルを握ることから、一日の安全運転が始まります。

九月二十四日十時から、となみ野農協機械センター前において、警察署の指導のもと地区安全協会、地区社協、ボランティアグループが交通安全のキャンペーンに参加しました。ボランティアグループによる帽子の手づくりマスケットとシートベルトせん米(フアームハ乙女米)を配布し、運転中の皆さんに「シートベルトを忘れず安全運転でお願いします」と笑顔で声をかけ、笑顔で受け

編集後記

今年には富山県において、喜ばしい事がありました。春には県民待望の北陸新幹線が開業し、秋には15年ぶりに、天皇、皇后両陛下の行幸がありました。

しかし日本では、台風18号の記録的豪雨での河川の氾濫や決壊での多大な被害や、爆弾低気圧での被害等の不幸な自然災害が発生しました。富山県での被害は聞かれませんでした。富山県の交通事故死者数(10月中旬の人口比)はワースト1です。お互いに交通安全に気をつけましょう。(K.Y.)



発行所	発行	号数
富山県南砺市川原崎 南山見公民館内	平成二十七年十一月	第六二号
南砺市南山見地区社会福祉協議会		

©読んだら綴りましょう



取ってもらいました。百二十袋のお米とマスケットがしばらくの間に手渡され、運転されている皆さんの安全を念じつつ一台一台見送りました。

交通事故の悲惨さを思えば、ひとりひとり、心が余裕をもち安全運転を心掛けたいものです。(M.I.)